

# 第43回 全国豊かな海づくり大会

つなぐパトン 豊かな海を 次世代へ ~おんせん県おおいた大会~

『全国豊かな海づくり大会』は、水産資源の保護・管理と海や河川・湖沼の環境保全の大切さを広く国民に訴えるとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて水産業の振興と発展を図ることを目的に毎年各地で開催される国民的行事の1つです。昭和56年に全国に先駆けて本県で記念すべき第1回大会が開催され、令和6年に本県での2回目の開催が決定しています。



第1回大会（昭和56年）の様子



令和4年度の兵庫大会の様子



## 大会の基本理念

大分県の豊かな海や川を次代へ引き継いでいくため、つくり育てる漁業に一層取り組むとともに、それらを育む自然環境を守っていくことの重要性を県内外へ広く訴えかけます。

また、四季折々の味力あふれる多様な水産物に加え、「おんせん県おおいた」の新たな魅力を全国へ広く発信していきます。

## 基本理念を支える大会の4つの基本方針

### 1 水産資源の保護と管理の一層の推進

水産資源の維持・増大を図り、「生産者の挑戦と努力が報われる漁業」の実現に向け、令和5年度にリニューアルする大分県漁業公社を核に、つくり育てる漁業をさらに推進するための大会とします。

### 2 森から川、海へとつながる豊かな自然環境の保全

森から川へ、川から海へとつながる自然環境や藻場造成などによる良好な沿岸環境の保全とともに、近年、国際的に大きな問題となっている海洋プラスチックゴミや地球温暖化などの環境問題に取り組むことの重要性について県内外へ広く訴えかけることで、本県の豊かな海や川を次代に引き継いでいく大会とします。

### 3 四季折々の多様な水産物の消費拡大

「関あじ関さば」、「城下かれい」、「かぼすブリ」、「姫島車えび」などのブランド水産物をはじめ、本県の海や川で育まれた四季折々の多様な水産物の味力を県内外へ発信し、消費拡大を図る大会とします。

### 4 おんせん県の新たな魅力を全国に発信

日本唯一の海上交通であるホーバークラフトの復活や「宇宙港」としての発展が期待される大分空港など、本県の新たな魅力を令和6年春のデスティネーションキャンペーンとあわせて、全国に発信する大会とします。

## 開催日程・開催地

令和6年 **11月9日(土)・10日(日)** ※式典行事、海上歓迎・放流行事は10日に開催

- 式典行事・・・ **iichikoグランシアタ（大分市）**
- 海上歓迎・放流行事・・・ **別府港第4埠頭（別府市）**
- 関連行事・・・ 大分市・佐伯市他数か所で開催



## 大会情報

大会に関する最新の情報はホームページとInstagramで公開しています。ぜひご覧ください。



ホームページ



Instagram

Instagramの登録よろしくね♪

